

(参考様式3)

会 議 録

会議の名称	平成27年度第2回東村山ふるさと歴史館協議会				
開催日時	平成28年3月17日(木)午後3時00分～4時30分				
開催場所	八国山たいけんの里 ボランティアルーム				
出席者及び欠席者	●出席者： (委員) 日笠山正治会長・石田武久副会長・當間シマ子委員・浜野進委員・長嶺すみ江委員・古閑啓之委員・小泉ひとみ委員・木村茂光委員 (事務局) 栗原館長・宮澤課長補佐・肥沼主任・金山囑託				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由		傍聴者数	なし
会議次第	1. 開会(館長) 2. 挨拶(会長) 3. たいけんの里施設見学 4. 協議事項 1) 家庭教育及び子ども向け事業について・・・資料1 2) 生涯学習事業について・・・資料1 3) たいけんの里・歴史館の利用について・・・資料2 5. 報告(館長) 6. その他 7. 閉会(会長)				
問い合わせ先	教育部ふるさと歴史館教育普及係 担当者名 宮澤 電話番号 042-396-3800				
会 議 経 過					
1. 開会(館長) 2. 挨拶(日笠山会長) 3. たいけんの里施設内見学(補佐) 4. 協議事項 1) 家庭教育及び子ども向け事業について(資料1及びスライド写真) 館長：家庭教育及び子ども向け事業については資料1を見て頂くとともに、スライドを見ていた来ながら説明したい。 補佐：たいけんの里において、今年度開催した事業の中でも特殊であったものについて、スライドを見ながら説明したい。ころころの森との共催し、歴史館で初めて行なった家庭教育事業である。0～3歳の子どもを持つ親子を対象に「食育」を目的として、カマドでご飯を炊くという事を行なった。近年子供に菓子パンを食事として与える親が増えていることを知り、学齢前の子どもを持つ親に「食べる」という事の意味を知らせるために行なっている。事業に関して、歴史館職員は学齢前の子どもたちに対応できるスキルがない為、ころころの森職員に対応し					

ていただいた。

会長：ころころの森は市が管理しているのか。

補佐：市指定管理団体である。また、その他に郷土食の会会員が手作りの味噌で味噌汁を作り、試食してもらった。

会長：今後とも共催事業を行なっていつてもらいたい。

A 委員：この事業に読み聞かせを行なう為参加したが、遠くは萩山町に住んでいる親子も楽しんで参加していた。1回ではもったいないので、ぜひ続けてもらいたい。

会長：その他の事業について説明してください。

補佐：資料1は学校向け、こども向け、生涯学習系で分けた。出前事業については計上していない。この内容以外に、学校向け事業として何ができるのかを聞きたい。また、こども向けや生涯学習系事業に関しても見ていただき、歴史館の将来のビジョンについてご意見をいただきたい。

B 委員：先日国語の授業に関連して糸車の出前事業をやってもらった。また、3年生では、まつりばやしをやっていただいた。学校としては、このような様々な出前事業を行なっているのを知らないのは、損をしていると感じる。もっと活用すべきである。出前授業の日程と授業公開日を合わせ、保護者にも周知する場を作れたら相互協力で盛上げられるのではないか。

C 委員：3年生の社会科見学で同行したが、非常に充実していた。付随事業のゆでまんじゅう作りに関しては、クラス内で4、5人が参加していた。こどもにとっては心に残る体験であると思う。そこに事業展開のきっかけがあるのではないか。

D 委員：学校向け、こども向け事業で不足だったものは何か。

補佐：出前事業や学校向け事業で対応している以外の学年に関しては情報がない為対応策が検討できない。また、中学生は職場体験場所としての利用はあるが、授業などでの利用がない。

会長：教育委員会を通して歴史館の利用を呼び掛けていってほしい。次の生涯学習については、今年度事業数が多くなり盛んになっていると感じる。このような活動を通して歴史館の意義を確立していってほしい。

E 委員：古文書講座が講座として通年化しているようだが、回を重ねると初心者と上級者のギャップが出てきてしまうのではないか。

補佐：現担当になった際、以前から参加していた方々には古文書のボランティア「古文書お助け隊」として筆耕作業に携わっていただくようにした。この古文書講座は初級者向けのものである。

会長：ボランティアはどのような作業を行っているのか。

補佐：今回市史研究第25号に成果を掲載している。

E 委員：成果を発表する場があるのはとても良いことだ。

会長：その他の事業はあるか。

補佐：今年度、F 委員が参加されている図書館読み聞かせボランティアとの協力事業として、昔の道具展開催期間中に展示室で「囲炉裏ばたのおはなし会」を開催した。

F 委員：我々も今回初めて行なう内容であり戸惑った面もあったが、喜んでもらったと考える。機会があれば来年もやってみたい。

会長：資料2についての説明をお願いします。

館長：資料2説明。

E 委員：例年これくらいの数値なのか。

補佐：そうであるが、たいけんの里は年々落ち込んでいっている。

館長：入館者増を目指して周知に力を入れているが、結果的に数値につながらない。

D 委員：入館者数1日平均70名は、周辺の地域博物館に比べて多い。これからも

頑張ってもらいたい。

5. 報告

館長：歴史館刊行物市史研究第25号、企画展図録等をお渡しする。なお、企画展を開催したことで、西武鉄道より先日感謝状をいただいた。

6. その他

館長：協議会会長が今期を持ってご退任されることとなりました。

会長：会長挨拶

7. 閉会挨拶（会長）

以上